

令和3年度 免許状更新講習【選択】シラバス

講習名	こどもの自立	
時間数	18時間	
受講対象者	幼稚園教諭	
担当講師	立本千寿子、式部陽子、澤田真弓、斎藤正寿、満田知美、高野敦子、高橋司、徳永満理、小林みどり	
講習の概要	講習Ⅰ	子どもと音楽表現〔担当：立本千寿子〕 乳幼児にとっての音環境は、何気ない生活の中で様々な刺激を乳幼児に与えています。とりわけ、保育現場では、乳幼児の園生活のリズムを刻み、健全な心身の発達を促す役割を担っています。本講義では、幼児期の音楽の原点について、乳幼児の発達と音楽の関わりについて、「聴く」ことの重要性について、現場で活用できる音楽表現について等を中心として、講義を行います。その際、オンラインでの講義として、可能な範囲で演習的な内容も組み込みます。
		発達障がいのある子どもと家族への支援〔担当：式部陽子〕 教育の現場において共生社会の実現に向けたインクルーシブ教育、合理的配慮の提供が求められています。本講習では、自閉スペクトラム症（ASD）、ADHD、LD等の発達障がいのある子どもと家族への支援について、子どもたちの特性理解、具体的な支援のあり方、家族への支援について考えます。
		長時間保育と子育て支援〔担当：澤田真弓〕 現在、幼稚園においてもニーズが高まっている長時間保育と子育て支援活動に関して、様々な取り組みと課題についての考察を行います。また、子どもを取り巻く社会的背景、生活背景の変化に着目し、今後の望ましい活動設定について考えたいと思います。
講習の概要	講習Ⅱ	国際社会における子どもたち〔担当：斎藤正寿〕 現在世界には22億の子どもたち（18歳未満）がいますが、そのうち880万人が5歳までに亡くなり、1億人が初等教育を受けられず、1億5000万人が児童労働に従事し、7000万人の女子が性器切除を経験し、120万人が人身売買されていると言われています。この時間は、国連で1989年に採択された「子どもの権利条約」に着目しつつ、少しでも21世紀の日本の外側で暮らしている子どもたちに思いを馳せていただこうと思います。
		こどもと造形表現〔担当：満田知美〕 造形めてひの基礎と応用 基礎／保育現場での造形遊び（お絵かき遊び）で生かせる基礎（鉛筆描写）について学びます。画材に慣れ自由自在に表現できるようになると自然に制作工程を言葉で説明できるようになります。鉛筆、消しゴムの使用方法を中心に線や面の意味など丁寧に指導します。 【課題（鉛筆の持ち方、線の種類、消しゴムの使い方（ドリル3枚））】 応用／木のデッサン。繊細でありながら力強い生命力を感じさせる木。整然とした秩序を感じる構造や見れば見るほど複雑な形態やマチエールについて学びます。絵本の導入から始まり、少しモチーフの観察や感情も交えながら写実の技法を学び、自然物が持つ美しい形の魅力に迫ります。（いろいろな種類の濃さの鉛筆を5本程度ご準備ください）。 【課題（木のデッサン（A4画用紙1枚※本学で準備））】
		受講者準備物： いろいろな種類の濃さの鉛筆5本程度（B、2B等）、消しゴム、鉛筆削りorカッターナイフ
講習の概要	講習Ⅱ	こどもとICT〔担当：高野敦子〕 子どもたち一人ひとりへの充実した援助を行うために、ICTを活用した幼児の発達過程に対する理解が期待されています。また、一人ひとり違った困難を抱えた子どもたちへの支援におけるICTの活用も注目されています。それらに関する最近の状況をご紹介しますとともに、情報化時代を生きる子供たちに求められる考える力を伸ばすための支援について考えます。

令和3年度 免許状更新講習【選択】シラバス

講習の概要	講習Ⅲ	児童文化財としてのパネルシアター〔担当：高橋司〕 パネルシアターが創案されて48年になります。今では各方面で利用されています。保育の中では行事の中で活用されることが多いようです。そこでパネルシアターが魅力的な児童文化財であることを踏まえ、「パネルシアターの日常化、保育化」を目指し、保育の中での活用の方途を実演を踏まえて考えていこうと思います。パネルシアターの魅力の一つに、「トリック」（しかけ）があげられます。現在考えられているトリックは、12種類くらいありますが、その全てを紹介し、作品作りの幅を広げていけるように、習得していきたいと思っています。
		こどもの言葉の育ちにおける絵本の役割〔担当：徳永満理〕 絵本は、幼稚園教育要領の5領域「言葉」において“絵本や物語などに親しみ、興味を持って聞き、想像する楽しさを味わう”とし、子どもの言葉を育てる文化財の筆頭に位置付けています。こどもの発達に沿った読み聞かせをすることで、聞く、見る力を育て、想像力を育くむ絵本の魅力とその実践について考えます。
		受講者準備物：絵本1冊 担当している、または担当していた0歳～5歳児クラスで、読み聞かせをした絵本を1冊準備してください。現場経験をしたことが無い方は、ご自身のお子さまに読み聞かせをする、またはした時のことを想定して1冊準備してください。その絵本を使用し、指導計画書の作成をしてもらいます。
		子どもの学びを支える保育者の役割〔担当：小林みどり〕 一人一人の子どもの資質・能力を育んでいくことや、小学校以降、生涯にわたっての学びの基礎をつくるのが、乳幼児期の保育に求められています。これからの保育に求められることを整理しながら、保育者の役割について考えます。
評価方法	3日間3講習（10項目）の筆記・実技試験の成績により評価します。各講習の合計点が100点満点となる成績評価を行い、60点以上を合格とし、履修認定を行います。	
成績評価の観点	講習Ⅰ	子どもと音楽表現 ・幼児期の音楽の原点や乳幼児の発達と音楽の関わりについて、知識を深めることができたか。 ・保育現場における実践性における「聴く」ことの考察ができたか。 ・音楽表現についての実践内容についての知識を得ることができたか。
		発達障がいのある子どもと家族への支援 ・発達障がいについて、基本的な特性を理解できているか。 ・特性に応じた支援のあり方を理解できているか。 ・発達障がいのある子どもの家族への支援について理解できているか。 ・インクルーシブ教育、合理的配慮の視点に基づいた支援のあり方が理解できているか。
		長時間保育と子育て支援 ・長時間保育、子育て支援活動に関して十分な現状認識と課題の抽出ができたか。 ・子どもを取り巻く諸状況の変化を意識的に捉える視点を持てたか。 ・今後の活動設定に関して、実情に応じた立案の視点を持てたか。

令和３年度 免許状更新講習【選択】シラバス

成績評価 の観点	講習Ⅱ	国際社会における子どもたち 21世紀の日本と世界の子どもたちの状況を比較することで、その違いと共通点の両方を明確に理解することができたか。そうした比較が、日常接する子どもたちへの「眼差し」の変化をもたらすとなれば、それはどのようなことかを意識化できたかどうか。
		こどもと造形表現 授業に対しての意欲。自身の造形表現のために工夫と熱意を持って実践できたか。
		こどもとICT ・ ICTを保育に活用する視座が持てたか。 ・ ICTの観点からこども中心の保育の意味を考えられるか。 ・ こどもたちの思考力を育むための支援について考えることができたか。
成績評価 の観点	講習Ⅲ	児童文化財としてのパネルシアター ・ 幼児にとっての児童文化とはなにか。 ・ 何故幼児にとって児童文化が必要か。 ・ 保育の中で素話をどのように活用していくか。 ・ パネルシアターの保育活動における意義とはなにか。
		こどもの言葉の育ちにおける絵本の役割 ・ 絵本は乳幼児のことばの発達においてどのような役割を担っているか。 ・ 絵本を発達に沿って読み聞かせすることで育まれるものは何か。 ・ 保育の中で絵本はどのように活用されているか ・ 選書した絵本が年齢発達に沿っているのか、展開が対象の子どもたちの気持ちに沿っているか。
		子どもの学びを支える保育者の役割 ・ 講義内容の中のいくつかのトピックから、受講者自身の実践を振り返って考えているか。 ・ 現在の保育に関する様々な課題について、保育者の役割の観点から考えているか。 ・ 受講後の実践に向けての課題が見出されているか。
使用する 教材等	全講習	必要に応じて資料を公開する。